

② 整備される道路



今の青梅街道（上）

昔の青梅街道（下）



みなさんがいつも通っている道はどんな道ですか。じゃり道ですか、ぐねぐね道ですか。きつときれいに整った道路だと思ひます。

道路は人が生活するうえでなくてはならないものです。特に住宅や大きな工場が増えてくると、自動車を使って仕事に行く人が多くなります。また、荷物を運ぶ大きな自動車もたくさん通るようになります。

そこで青梅市ではいままであった道を自動車の走りやすいようになおしたり、今までなかったところにも新しく道路をつくるようになりました。

こうして、広くて大きな道路ができて、自動車も通りやすくなり、渋滞が少なくなってきました。

また、自動車の通る道だけでなく、歩道も整えられ、歩く人も通りやすくなりました。

このように、私たちのくらしを便利べんりにしてくれる道路ですが、そのために失われていくものもあります。

道路を整えていくために、畑や野原をつぶしたり、雑木林ぞうきや山をけずったりしなければなりません。また、それまで住んでいた場所から家を動かしてもらったこともあります。

また、私たちのくらしをよくすることだけを考えていると、そこにすむ動物や植物たちは生きていけなくなってしまうのです。

自然しぜんを大切にしながら道路を整えていくことがこれからはいっそう必要ひつようなことになります。

今、新しくつくっている大きな道路にも、自然を大切にしようとする工夫がみられます。

こんな工夫があるんだよね。

- * 道路の周りにたくさんの木や花を植える。
- * 道路に動物が入らないようにさくを作る。
- * 動物の通り道（けもの道）を作る。
- * 緑を残すために、深いところにトンネルをほる。

